

自治連だより川越



- 発行—川越市自治会連合会
- 事務局—川越市役所 地域づくり推進課内
川越市元町1-3-1 Tel 224-5705(直通)
- ホームページ <https://kawagoejichiren.jimdo.com>

主な記事

- 2面…令和元年台風19号等災害義援金のお礼
ブルーベリーの苗木を配布
シラコバト賞を受賞
児童交通安全教室を実施
- 3面…第32回防犯並びに暴力排除推進大会
冬の交通事故防止運動
第35回青少年健全育成川越市民大会
- 4面…自治会連合会役員視察研修会を実施
小江戸川越ハーブマラソン2019
「岸町健康ふれあい広場」の紹介
編集後記

川越市自治会連合会会長 本間 幸治



皆様、あけましておめでとうございます。旧年中は川越市自治会連合会の様々な事業に対しまして、多大なるご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は台風19号等により、市内各所で浸水被害が発生しました。被災された皆様に対しまして、心よりお見舞いを申し上げます。

また、お互いに助け合い支え合うという思いから義援金を募り、各自治会の皆様にご協力をいただきました。多くの方々から心のこもった募金が寄せられたことに改めて御礼申し上げます。

市内における台風被害を私も実際に目の当たりにしたことで、改めて地域の住民がお互いに支え合うことの必要性や人と人との絆の大切さを実感いたしました。

さて、今日多様性が叫ばれておりますが、こうした社会においてこそ、地域コミュニティの中核として自治会の果たす役割がますます重要となるものと考えております。

一方で自治会活動も住民の多様なニーズを的確に捉え、住民目線に合った活動により住民との信頼関係を構築していくことが望まれます。そのためにも、自治会連合会が「ONE TEAM」となって様々な地域課題に取り組むと同時に、行政や議会とスクラムを組んでより良い地域づくりをしていかなければなりません。

今年は十二支の最初となる子年です。私も、自治連の発展のため、心新たに努力してまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻をお願いいたします。

結びに、皆様方のさらなるご健勝とご活躍を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願いたします。

川越市長

川合 善明



明けましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、自治会の皆様方には、日頃から市政各般に対しまして、深いご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年秋の台風第19号におきまして、被災された皆様にご心よりお見舞い申し上げます。また、川越市台風19号義援金につきまして各自治会の皆様方よりご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

災害が発生した際、地域で最も身近な自治会の活動は非常に心強く、地域の皆様の相互扶助、地域の絆の重要性をあらためて強く感じております。

昨年は2月より交通空白地域へのデマンド型交通の運行を開始し、4月には霞ヶ関西公民館及び児童発達支援センターを開所しました。また、新たな賑わいの創出に向けた川越駅西口市有地利活用事業による複合施設も供用開始に向け整備を進めております。

そして今年はいよいよ東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。本市はゴルフ競技の開催地として、世界中の方を川越市ならではの「おもてなし」で迎えるべく様々な施策に取り組んでまいりました。オリンピックを契機に、さらに魅力があふれ、誰もが住み続けたいまちづくりの実現に向けて全力で取り組んでまいります。

今後とも川越市自治会連合会をはじめ、自治会の皆様には市民の皆様と市を結ぶパイプ役として、また地域コミュニティの核としてなお一層のお力添えを賜りたいと存じます。

結びに、川越市自治会連合会がますます充実、発展されますとともに、本年が皆様にとって希望に満ちた素晴らしい一年になりますようご祈念申し上げます、ごあいさつといたします。

令和元年台風19号等災害義援金のお礼

昨年10月12日（土）、東日本に記録的な大雨をもたらした台風19号をはじめとする災害により、本市でも甚大な被害が発生しました。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

このことを受け、川越市自治会連合会では義援金を募ることとしました。昨年11月15日（金）から各自治会において募集を開始し、多くの方々からご協力をいただき、深く感謝いたします。義援金は、川越市義援金運営委員会の決定に基づき、全額市内で被災された方々へ届けられます。

なお、本義援金についての報告は次号にて改めて掲載いたします。

ブルーベリーの苗木を配布

自治会連合会の環境美化推進事業の一環として、毎年恒例の苗木配布を実施しました。今回は、昨年11月10日（日）にウエスタ川越で開催された「健康まつり」において、ブルーベリーの苗木を配布しました。

苗木の数を前回の150本から「300本」に増やしましたが、配布開始から20分で終了してしまうほどの盛況ぶりでした。



「大事に育ててくださいね」

シラコバト賞を受賞

今年度のシラコバト賞（埼玉県知事表彰）は、自治会連合会が推薦した下記の個人9名及び団体2団体が受賞されました。おめでとうございます。 順不同、（ ）は支会名

個人の部

- 原 伸次さん（第1）
- 加賀昭一さん（第9）
- 新井利男さん（第10）
- 石川富士夫さん（高階）
- 大川 弘さん（高階）
- 加藤 茂さん（名細）
- 風間 博さん（名細）
- 飯川正治さん（霞ヶ関北）
- 宮田カツ江さん（霞ヶ関北）

団体の部

- 水久保趣味の会（霞ヶ関）
- かほく介護予防サポーター（霞ヶ関北）

児童交通安全教室を実施

川越市自治会連合会では、事業計画にある「交通安全対策の推進」の一環として、川越市自治会連合会主催の交通安全教室を、11月11日（月）に大塚小学校において5、6年生を対象に実施しました。

当日は雨天のため体育館での実施となりましたが、自転車による交通事故の再現シーンをプロのスタントマンが実演し、事故の恐ろしさを学びました。

また、保護者の皆様、川越警察署、交通安全協会、交通安全母の会、交通指導員会、老人クラブ連合会の関係者の皆様には、早朝からご協力、ご参加いただきまして、誠にありがとうございました。当事業を通じて交通安全の意識が高まることを期待しています。



「あっ危ない!!」

第32回防犯並びに暴力排除推進大会

昨年 10 月 9 日 (水)、ウェスタ川越大ホールにおいて、川越市・川越警察署・川越防犯協会・川越市暴力排除推進協議会主催による「第 32 回防犯並びに暴力排除推進大会」が開催され、各自治会から地域防犯推進委員をはじめ、多くの皆様が参加しました。

第 1 部は、各種の表彰が行われ、自治会や地域における防犯活動に功労のありました個人や団体の皆様と、多数応募のあった防犯ポスターの中から優秀作品に選ばれた市内の小中学校生徒の皆様が受賞されました。

また、全国防犯協会連合会防犯栄誉銅章を受章された中原町 2 丁目自治会本郷誠二会長の提案により、800 名近くの参加者が大会宣言を唱和しました。

続いて第 2 部では、小江戸ブラスファイブによる演奏、振り込め詐欺対策ドラマの上映、劇団 Type II による振り込め詐欺寸劇が行われました。

川越市内では近年犯罪被害は減少していますが、依然として振り込め詐欺被害が多発しております。日ごろからお互いに声をかけ合って、被害の撲滅をめざしましょう。



冬の交通事故防止運動

川越市自治会連合会では、川越市・川越警察署・関係機関・団体に協力し、昨年 12 月 1 日 (日) ~ 12 月 14 日 (土) に冬の交通事故防止運動を実施しました。「高齢者の自転車乗用中の交通事故防止」を本市の重点目標とし、交通安全に対する意識の向上を図るため、市民の方々へ地道な声かけをしました。

本市における昨年の交通事故の発生状況ですが、人身事故件数については減少傾向ですが、死亡事故については、11 月末現在、4 件発生しており、既に平成 30 年の年間件数を超えています。



昨年 12 月からは道路交通法が一部改正され、携帯電話等使用での「ながら運転」が厳罰化されました。「ちょっとくらいなら・・・」という軽い気持ちで重大な事故を引き起こす原因にもなり得るので、危険な運転は絶対にやめましょう。

新年を迎えたことを契機に、もう一度初心にかえり、ご家族の方と一緒に交通ルールを再確認し、事故のない安全安心なまちにしていきたいと思います。

第35回青少年健全育成川越市民大会

昨年 11 月 9 日 (土)、川越市やまぶき会館ホールにおいて、「第 35 回青少年健全育成川越市民大会」が開催されました。この大会は、青少年育成関係者が一堂に会し、総意を結集して活動の一層の推進を図ることを目的に毎年開催しています。

当日は、感謝状の贈呈・青少年育成活動顕彰 (かしの木褒賞) ・青少年地域活動顕彰 (やまぶき褒賞) ・少年の主張作文入賞者の表彰が行われました。

続いて、東洋大学教授で日本陸上競技連盟オリンピック強化コーチでもある土江寛裕氏による講演「スプリントで世界と戦う~2020 東京オリンピックに向けて~」、神山航河さん (霞ヶ関中学校 3 年生) による少年の主張作文最優秀作品の朗読、浅田奈々莉さん (霞ヶ関中学校 3 年生) による川越市少年の翼体験発表がおこなわれ、盛会のうちに終了しました。



自治会連合会役員視察研修会を実施

昨年11月1日（金）、千葉県柏市役所において、川越市自治会連合会役員を対象とした視察研修会を実施し、「柏市ふるさと協議会連合会の活動成功事例と課題」に関して説明を受け、意見交換を行いました。



柏市では、自治会等の枠を超えた地域づくりの担い手として、「ふるさと協議会」を設置し、防災活動をはじめ高齢者の支え合い活動など各地域の状況に応じた様々な活動を行っているとのこと。

翌日は、視察先が千葉県であったことから、台風15号等の爪痕を間近で見学するとともに被災体験を聞くことで、改めて防災意識の重要性を再認識しました。

2日間にわたる視察研修会は、参加者から多くの質問が出るほど関心度が高く、学ぶことの多い研修になりました。

小江戸川越ハーフマラソン2019

昨年11月24日（日）、「小江戸川越ハーフマラソン2019」が開催され、ハーフ、10km、FunRun（約4km）の3種目に9,000人を超えるランナーが、小江戸川越を駆け抜けました。

ゲストランナーの吉田香織さん（川越女子高校卒）はハーフの部に、福内櫻子さん（大東文化大学卒）は10kmの部にそれぞれ出場しました。

ランナーの皆さんからは「沿道からの温かい声援が大変励みになった」「今度は観光客として川越をぜひ訪問したい」との声が寄せられています。

各自治会選出のボランティアスタッフをはじめ川越警察署並びに関係団体の皆さん、交通規制区域周辺の皆さんには改めて感謝申し上げます。



「岸町健康ふれあい広場」の紹介

第八支会の岸町3丁目地内にある「岸町健康ふれあい広場」は、川越市の公園として、平成10年4月3日に開園式が行われ、4月19日から一般市民に開放されて、今日に至っています。名称には「岸町」の文字が入っていますが、ほかの公園と同じように、岸町の住民だけが利用できるものではないことは言うまでもありません。

広場は、朝のラジオ体操をはじめ、ウォーキング、ジョギング、太極拳、グラウンドゴルフなどと、小学校の校外学習の場、保育園児・幼稚園児の遊び・運動の場としても利用されています。

また、園内にはソメイヨシノなど様々な桜の木があり、春はお花見で大いににぎわいます。

編集後記

家庭内でも職場でもどこでもコミュニケーションが大事だと言われている。

そのことを改めて2019年秋の台風19号の夜はつくづく感じた。

私の住んでいる地区は、入間川と小畔川に挟まれているが、市のハザードマップには浸水箇所がない地区である。しかし、これとて当てにならないのが近ごろの自然災害である。

日ごろから自助・共助・公助等の防災について啓発はしているが、いざという時には気が動転して携帯電話が鳴り、避難勧告などがあると夜間に民生委員や自治会長に電話をかけまくった方もいたのではないのでしょうか。

電話をかけてきた方は、近所付き合いをしていなかった方が多かったと思います。ふだんからのコミュニケーションは災害時にも役に立つので、これを大事にしていきたいと思います。

(K. K)